

令和3年度第4回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催

令和3年12月21日（火）午後1：55～3：20 生涯学習センター多目的ホール

■出席

委員：海老原委員（女性団体じょうそう事業委員会），尾上委員（常総市身体障がい者福祉協議会），倉持委員（市議会），遠藤委員（市議会），◎鈴木委員（筑波大学），鈴木委員（茨城運輸支局），牧瀬委員（茨城運輸支局），牧野委員代理（県交通政策課），志賀委員代理（常総工事事務所），大郷委員（常総警察署），渡辺委員代理（関東鉄道株鉄道部），武藤委員（関東鉄道株自動車部），相山委員（株アイヤマ観光），松村委員（三妻タクシー），谷田部委員（関鉄労組），浅野委員（市商工会），細谷委員（市社会福祉協議会），小林委員（市長公室長），堀委員（福祉部長），小島委員（産業振興部長），戸塚委員（都市建設部長）

※◎：議長

事務局：岡野常創戦略課長，江面補佐，大崎係長，富山主幹，鈴木主事（記録者）
草間主幹（市社会福祉協議会）
城平氏（株ケー・シー・エス）

■内容

議案第1号 コミュニティバス実証運行計画（案）について

報告第1号 常総市議会発出の公共交通に関する要望書について

報告第2号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

■協議内容（◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午後1：55

【議案第1号】コミュニティバス実証運行計画（案）について

【報告第1号】常総市議会発出の公共交通に関する要望書について

- ： ルートについて私の意見を述べさせていただく。いまの計画を拡大しなければいけないと思う。例えば菅生地区であれば，お示しの案だと樽井地区という守谷市との境界や菅生小学校のあたりの市民

は利用できない。守谷市のコミュニティバスが板戸井地区まで来ているので、菅生地区の最南端まで運行すれば連携もできると思う。実証実験とはいえ、各町内に最低限1か所は設置してほしい。石下ルートも同様に下妻市との連携もあるし、旧水海道、旧石下の連携も必要。次に費用について。電気バスとディーゼルバスの比較をしているが、もう少し小さなバスでもよいと思う。小さいバスであれば、集落の細い道にも入っていける。案のバスでは、いずれも細い道には対応できないし、購入費用も高額である。補助金が活用できるとしても、なぜ、このサイズの車両が必要なのか。ハイエースのコミューターなら750万円程度。1/3の費用で済むのだから、予算も十分に検討しなければならない。

- ▲： ルートについては協議会で承認いただいているところだが、主要なところから運行開始し、利用者や運行事業者から意見をいただいてルートの変更や延長を検討していくとしている。購入費用の根拠については、近隣自治体でもポンチョを導入していることを鑑みて、当市も同程度の車両が必要だと想定した。
- ： 順次整備していく話は理解できるが、初めから広範囲をカバーすべきだと思う。誰も置き去りにしない体制でスタートすべき。ルートに入っていない地区は置き去りにされてしまう。実証運行中に利用しないような地区は、見直していけばよい。市としてどの地区も置き去りにしない状況にしてほしい。費用も十分に検討いただきたい。
- ： 議会でもコミュニティバスに深い関心を持っていただいていると思う。車両の選定についてだが、補助金が活用できるのであれば、小さな車両を導入するということも考えられる。ただし、様々な地区を運行するため車両を増やすのであれば、その分の運行経費がかかることになる。どのような運行でどれくらいの費用負担が望ましいか、協議会で議論していければと思う。
- ： その意見も理解できる。ただ、ルートの見直しをしてほしいということと、車両3台のうち1台はコミューターにするなども検討できると思う。
- ： 私は運行計画について一貫して反対している。この協議会のあり方も問題視いただきたい。前回の協議会は書面協議だったが、市の重要な事業を決定するのに、コロナ禍とはいえ書面協議で承認してしまってもよいのか。10名以上の委員が意見を述べていて事務局から回答されているが、本日のように会議の場で議論することで新しいアイデアが生まれたのではないかと感じている。こういったことから協議会のあり方に不満があるということを、まずは述べさせていただく。続いてルートについてだが、水海道ルート・石下ルートともに私なりに市民の意見を聞いても使い勝手が悪い、利用しないのではないかと意見が大多数である。6ページ、37ページのとおり、交通弱者は東西よりも南北に存在している。議会では、コミュニティバスを運行するのは初めてだという執行部からの答弁があったが、福祉循環バスが存在していた。それは地区ごとにルートが設定され、ルートごとに曜日を決めて運行していたのである。そもそもコミュニティバスという名称を考えればわかるが、コミュニティ、地区ごとに運行していたのだから、コミュニティバスだろう。それなのになぜ、水海道地区1ルート、石下地区1ルートとなってしまったのか、不思議でならない。それを補完するためにふれあい号があるということかもしれないが、ふれあい号を含めて市の公共交通全体を見直す必要があると再三再四

申ししてきたし、予算面でも既存の公共交通にコミュニティバスを加えるだけになっている。議会から選出された立場として、予算をかからないようにするため、公共交通全体を見直して、新たな公共交通網を構築して補助金をいただくべきと述べてきたのに、本日の資料では、一般財源のみでコミュニティバスを運行することになっている。納得できない。コミュニティを走るといふ計画がなく、どうしてこの2ルートに決定したのか。書面協議で決定した、ではこの協議会の権威・重みがない。様々な立場から参加いただいているのに、書面協議では専門的な意見を聞くこともできない。それでよいのかということを感じている。また、停留所については設置する場所の地権者の了解を得ているのか。このまま承認されたとしても市民は利用しない。市民に寄り添う議員の立場としてそう思う。朝7時から夜19時までの運行としているが、コミュニティバスを利用したいと考える市民が使える時間帯なのか。議会の答弁では高校生の通学利用や、将来はスクールバス的な役割も検討するとあったが、それよりもまず、交通弱者への対応であり、スクールバスは学校統廃合の進捗に合わせて検討すればよいと思う。交通事業者にお伺いしたいが、このようなルートを路線バスとして毎日運行する場合、どれくらいの運行経費になるのか。

- ▲： 先ほどの回答と重複するが、このルートに決定した理由は、主要な地区から運行開始し、利用者や運行事業者の意見をふまえて変更や延長を検討していきたい。また、停留所については現時点の案をお示ししているの、地権者等の了承は得ていない。協議会で運行計画が承認された後に相談に行くことになる。時間帯についても現時点の案であり、今後の協議や運行開始後の状況を見て、都度、検討していくことになる。
- ： 補足になるが、2ルートとした理由についてだが、常総線を木でいうところの幹、身体でいえば背骨とし、それにつながる枝、肋骨としての2ルートを整える。そこにさらに枝葉を足していく、公共交通網を作っていくというイメージである。また電気バスについては、国補助のスケジュールが示されていないこともあり、当初に示した運行開始時期から遅れるが、それに合わせて十分な審議が必要だと考えている。
- ： 当社の場合、車両購入費用は減価償却するので、5年償却であれば購入価格を5分割して運行経費に上乗せすることになる。一般路線バスの運行経費については、1日あたり8時間、150km運行、13年程度使用しているバスで考えると約45,000円と思われる。単純計算で年間約1,600万円の費用になる。
- ： 先ほど常総線が背骨で、その肋骨を整備していくとあったが、肋骨は2本ではない。何本もある。市内7駅それぞれへの肋骨があればよいが、2本では納得がいかない。これから見直すということではなく、協議会ですでに様々な意見が出ているはず。つくば市や守谷市との連携の可能性や、それに合わせてふれあい号をどうするかを考えていただきたいと述べてきている。しかしながら、本日示されたのはこの内容である。仮に協議会で承認されても、最終的に議会で予算が承認されるかは約束できない。もう一度協議してほしい。
- ： 肋骨というのはあくまでもものの例えであり、実証ということでの2ルートである。費用についても、支出を減らすために変更するという考えは常に持っていなければならないと思う。

- ： 事務局から停留所について説明があり、このルートとしたい意思を感じたところだが、実証運行であれば広範囲に運行してほしいということを述べさせていただく。また、実証運行後にどこにルートを設けるかも協議しておくことも必要だと思う。
- ： 停留所についても机上の空論と言わざるをえない。淵頭町の停留所なんかまさにそう。この先には踏切があるのでただでさえ渋滞しやすいのに、こんなところに停留所を置けばどうなるか。また、民家の出入り口のように見受けられる。地域の声を把握しないとこの計画は成功しない。地域に愛されるコミュニティバスでなければ、我々協議会委員がなんのために議論しているのかわからなくなってしまう。
- ： 障がい者割引運賃について。等級により割引対象としているが、今後対象を拡大していくことは可能か。
- ▲： 他の自治体を参考にしながら、今後検討していきたい。
- ： これまでのご意見すべてに対してだが、本日は案の段階なので、これが変更になることはありえる。協議会で揉んでいくのがあるべき姿だと思う。ただ、電気バスを導入するか否かでその後のスケジュールが変わってくるので、その点については本日決定したい。
- ◆： では、電気バスについて質問はありますか。
- ： 費用を抑える方法がわからないうちに、補助が活用できるからといって電気バスを3台も導入するのはいかがか。今後の財政状況を考慮すると、ルートを拡大していくことができないと思う。この場で結論を出すのは早急。慎重に議論したほうがよい。
- ： やり方はいろいろあると思う。既存のバスで運行を開始し、補助金が活用できるようになったら電気バスに転換することもできる。
- ： 購入の是非ややり方について、運行事業者と議論させていただく。
- ◆： 3台すべて電気バスにする必要はないという意見もあると思う。一部導入という可能性も検討いただきたい。
- ： 乗合の運行事業者だけではなく、各種運行事業者とどのような計画が望ましいか話し合っていたきたい。それらがまとまってから電気バスか否かという議論になると思う。
- ▲： あらためて案をお示しできればと思う。
- ◆： 交通弱者は南北にいるとのことだが、南北軸は常総線があるため重複してしまう可能性がある。また、ルート距離を延長すれば運行時間も長くなり、利便性が低下することも考えられる。そのあたりのご意見はあるか。
- ： 南北に走らせろということではなく、コミュニティを回遊して最終的に駅へつなぐということ。福祉循環バスがそうだった。市民から福祉循環バスに対する要望も出ているのではないかと。ふれあい号

があるからではなく、綿密な計画にしてほしい。市民の意見が反映されていないと思う。

- ◆： 市民の意見はアンケートも実施しているので、これまでの計画策定にまったく反映されていないということはないと思う。
- ▲： おっしゃるとおり、地域公共交通計画策定時に3,000件のアンケートを実施し、それをふまえてコミュニティバスを導入するとしている。直接的なご意見をいただくことは行っていないが、実証運行の中でできればと考えている。
- ◆： 市全域を運行するふれあい号がある状況で、コミュニティバスをくまなく運行する必要があるかも検討しなければならない。バスのほうが運行費用がかかるということも考えられる。ふれあい号ではなぜだめなのか。ご意見はあるか。
- ： コミュニティバスの運行に合わせ、ふれあい号の改善も必要である。認知度を高める取組みが必要ではないか。
- ： 先ほどふれあい号よりバスのほうが費用がかかるとの発言があったが、利用者一人あたりの運行経費はバスのほうが安い。
- ◆： ご指摘のとおりだが、利用されないと意味がない。費用対効果を考えなければならない。
- ： ふれあい号はコロナ禍をふまえて見直す必要がある。最大の問題はシステム代。各タクシー会社で予約を受け付けるとか、いろいろな面で見直す段階。従来の福祉タクシー助成券に戻すほうが安上がりかもしれない。
- ◆： 常総市は福祉循環バスや福祉タクシー助成券などに取り組んでいた過去があり、現在はふれあい号があるうえで新たにコミュニティバスを検討している。当時のような運行形態に戻すことも選択肢かもしれないが、福祉循環バスへの批判があったことも事実であり、非効率なことにならないように協議していければと思う。ご自身の公共交通の利用に基づくご意見をいただきたい。

- ◆： 今後もコミュニティバスについて議論を続けていかなければならないが、見直しすることも含めてこの案で検討していくこととして、賛成・反対の決をとってよろしいか。
- ： 先ほどの意見であったように、事務局と運行事業者による調整をしたうえで、次回に持ち越すべき。運行開始が遅れても仕方ないと思う。
- ◆： では、本日は議決しないということによろしいか。
- ： 異議なし。
- ◆： ありがとうございます。計画案については、次回あらためて協議することとします。

【報告第2号】予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

- ◆： 昨年度と同程度ののべ利用者数になりそうか。
- ▲： 11月末現在の比較で下回っていることから、昨年度よりも利用者減になると思われる。

- ： 男性の利用者が少ないとのことだが、女性の隣に座ることに気が引けるといいう声を聞く。改善策ないと男性の利用者が増えないと思うので、そういったことも考慮いただきたい。
- ▲： すぐに解決できる課題ではないが、アイデアをいただきながら検討していきたい。

- ： ふれあい号は通院で多く利用されているようだが、福祉タクシー助成券で通院されている割合がわかれば教えてほしい。
- ▲： 所管外のため把握していない。
- ： 福祉タクシー助成券は通常のタクシー料金の初乗り分を助成するものであり、統計は取ってない。現実的には通院、次いで買い物での利用が多いと推測している。

閉会 午後3：20